

島根かみあり国スポ開催に向けて 地元出身オリンピックと 町内児童がホッケー体験!



▲「ホッケー頑張るぞー!おー!」



▲ホッケーの楽しみを全身で体験しました

参加した児童からは「もともと好きだったけどホッケーがより好きになった」「5年後の国スポに出て活躍したい」といった声が聞かれました。

膳棚さんは「これをきっかけにホッケーを始めてもらって、一緒に遊んで町全体でホッケーを盛り上げていきたい」と話され、山本さんは「2030年に向けて一緒に頑張ってくれる子がいたら嬉しい」と思いを語られました。

奥出雲町は、2030年に開催される国民スポーツ大会「島根かみあり国スポ」にホッケー競技の会場に選定されています。ホッケー競技の普及、振興のため島根かみあり国スポ奥出雲町準備委員会が中心となり、町内の小学校でホッケー体験会が開催され、1月27日には三成小と高尾小の5・6年生34人が参加しました。



▲島根リハビリテーション学院協力のもとウォーミングアップ

体験会では町準備委員会に参画している島根リハビリテーション学院の生徒によるウォーミングアップや運動遊び、その後東京五輪に出場した膳棚大剛さん（セルリオ島根、アテネ五輪など3大会に出場した山本由佳理さんを中心とした実技指導が行われました。児童らはまずスティックの持ち方やボールのコントロールの仕方など基本的な動作から教わり、最後のスーパードルでの練習試合では白熱した戦いを見せました。

激励式が行われました

1月27日に、役場横田庁舎で全国大会出場の激励式が行われ、選手たちが意気込みを述べました。

第62回全国中学校スキー大会 アルペンスキー競技

2月4日から7日にかけて
長野県で開催



横田中学校1年
景山雄平さん

仁多中学校2年
和泉圭亮さん

初めての全国大会だけど、上級生にも負けず精一杯頑張っていていい成績を残したいです。

昨年に続いての出場で、今年は夏もしっかり練習したのでその成果を十分に発揮したいです。

防火・防災への決意新たに 奥出雲町消防出初式



▲横田地域分団による一斉放水の様子

奥出雲町消防出初式が1月11日、カルチャープラザ仁多で開催され、村尾紀代之団長をはじめ、新入団員2人を含む消防団員177人が出席し、防火や防災への意識を新たにしました。

式典では、各種表彰のほか、退団者に感謝状が贈られました。式典後は、斐伊川護岸道路に移動し、今年1年の無火災を祈り、横田地域の分団による一斉放水が実施されました。

25歳同窓会を 初開催!

12月30日に伝統産業会館にて「25歳同窓会」を開催しました。この事業は成人式以降大規模で集まる機会がなく、若い世代の人たちが疎遠になっていくことから、集まる場を設けることで、町とのつながり、人とのつながりをつくることを目的としています。

当日は奥出雲町出身の25歳30名が集まり、参加者同士で近況を報告し合い成人式以来の再会を楽しみました。

今回の同窓会をきっかけに、少しでもUターン者のきっかけとなることを願っています。

本町では、来年度以降もこの「25歳同窓会」を継続して開催していく予定です。



厳冬に炎赤くー 日刀保たたら火入れ式



(公財) 日本美術刀剣保存協会

△炉に砂鉄を入れる堀尾村下

世界で唯一、奥出雲町のみで受け継がれる日本古来の製鉄法「たたら製鉄」を営む鳥上地区の日刀保たたらで、1月22日に今年最初の操業が始まりました。

火入れ式に先立ち関係者約30人が、約40年にわたり村下(技師長を務め、6月に88歳で逝去された木原明さんに黙祷を捧げました。

操業の安全を祈願したあと、木原さんの後を継いだ堀尾薫村下が、炎の中に最初の砂鉄「初種」を流し込みました。作業は3昼夜にわたり、堀尾村下を含めた13人が30分おきに砂鉄と木炭を炉に入れて燃やします。

堀尾村下は「私が全責任を負ってこの操業に臨む覚悟で、本日火入れを迎えておりますと力強く語られました。

1回目の鋳出しは25日の早朝に行われ、玉鋼を含む鉄塊「鋳」が取り出されました。操業は2月8日まで、に計3回行われ、出来上がった玉鋼は全国の刃匠へ供給されます。